

編集後記 静けさやグラウンドにしみ入る蝉の声

毎日、暑い日が続きますね。

南国宮崎育ちの僕ですが、はっきり言って大阪の方が

宮崎よりずーっと暑く感じています。暑さの質が違います。ハイ。(*_*)

おかげで痩せてしまいそうです。(でも、痩せません…)



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



こんな暑い休みの日も近くの小学校のグラウンドから野球の練習を頑張る元気な子供達の声が聞こえてきます。

僕がコーチ時代のある夏、懐かしくも、なんとも情けない試合がありました。

うちのチームの4年生以下で構成して初めて参加した公式戦は、夏の豊中大会5年生以下の部でした。

組み合わせの妙か、初戦の相手は、優勝本命の強豪チームでした。

炎天下の中いざ試合が始まると、うちのチームの投手はストライクが殆ど入らない、打たれたら守れない…。

相手は初回から打者3巡(!)の攻撃。あまりに長く悲壮感が漂う守備の時間でした。そのうち声を出す者は誰もいなくなり、ただただ、セミの声がグラウンドに響いていたことを覚えています。(-_-)

その試合は、守備の時間があまりに長くなった為、途中2度の水分補給休憩を挟んだ後、

結局は2回表の相手チームの攻撃中にコールドゲームが宣告され試合終了。

たしか、スコアは**36対0**。たしか豊中大会の記録だったはず。(*_*)

当時の父兄とお酒を飲みに行くと今でもその話が出て、楽しい酒の肴になっています。^_^;

今となっては懐かしくも楽しい僕たちの「夏の思い出」なのですが、それも熱中症にならないよう

前代未聞の難しい試合を運営してくれた大会役員の方や審判の方の配慮があったからだと感謝、感謝です。



総務省消防庁は7月 10～16 日の1週間に 7680 人が熱中症で搬送されたとの速報値を発表しました。

前週から 1.8 倍に増え、全国で計6人が搬送先で死亡したとのこと。各地で真夏日や猛暑日を観測し、

気温が高い日が続いたためとみられています。これからますます増えることが懸念されています。

これだけ暑い日が続くと、職場でも熱中症の予防について意識しなくてはなりません。

熱中症の予防のポイントは主に以下の4つとされています。

1. 作業前の体調チェック(食事、睡眠等)
2. 作業前や休憩時間の水分・塩分補給
3. 通気性の良い服装
4. こまめに休憩



職場における**安全配慮**は「**使用者責任**」とされている義務ですが、現実的には会社というより、その職場、現場の管理者の監督責任です。

したがって万が一のことがあれば、**現場の管理職は当然にその責めを負う**ことになります。

とはいえ、自己の体調管理は、社会人の常識。

どうか職場全体で熱中症予防に気を配って、この暑い夏を乗り切ってくださいね。

ちなみに、日傘で日差しを遮ると体感温度が6度前後下がることから、埼玉県は

日本洋傘振興協議会と連携し、男性用日傘の普及啓発に取り組むことを発表しています。

近い将来、男性も日傘を差して外出するなんて当たり前になるかもしれません。(^o^)

そういや、前述の36-0の試合の時のこと、日頃おとなしくて可愛らしい感じのお母さんが、エラーをした自分の息子に向かって日傘で顔を隠して「**何しとんじゃアホー！ポケー！**」とセミの声より大声で怒鳴っていて、その意外性と迫力にみんな目が点になったことがありました。(@_@;)!

でも、あの夏の辛く長い試合のおかげで、父兄の親密度が一気に増したように思います。



このポケー!



アヴニール労務事務所
未来は変えられる! **avenir**